

1 横浜駅西口をとりまく現状

横浜駅周辺については、平成21年に策定したエキサイトよこはま22計画に基づき、まちづくりを推進しています。特に西口では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な事業が進行しています。それに合わせ横浜駅西口駅前広場の整備を予定しているため、現在の状況について報告します。また、西口駅前広場整備について、市民の皆様から愛され、利用者にとって使いやすい駅前広場を整備するために、市民意見募集を行う予定です。

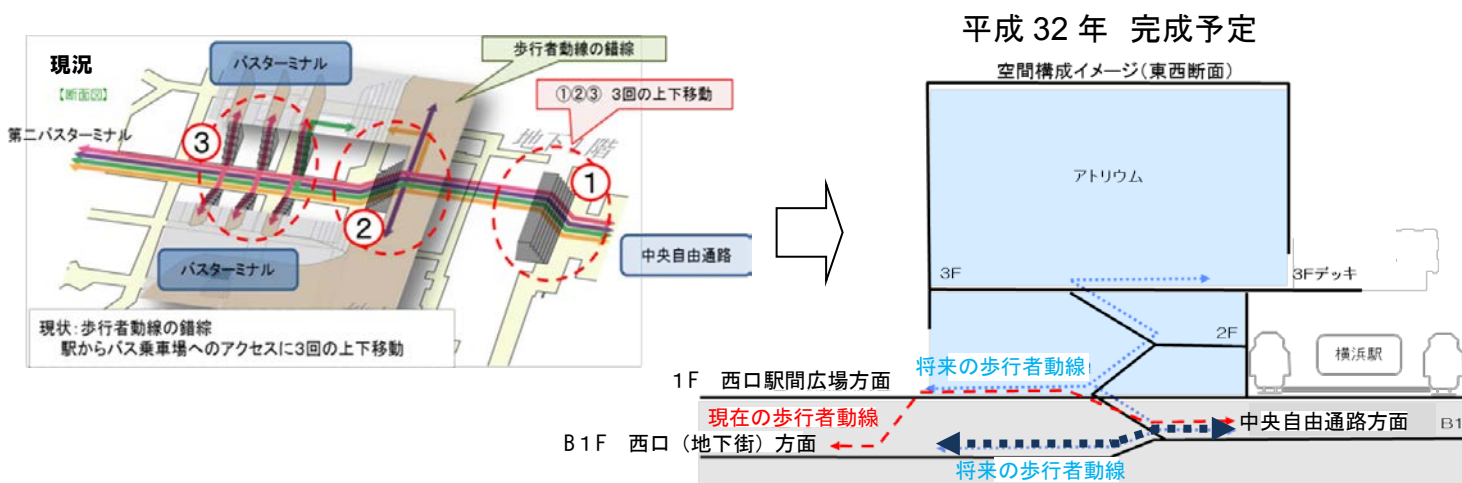
(1) (仮称)横浜駅西口開発ビル

平成27年度に工事着手し、平成32年の2020東京オリンピック・パラリンピック前の完成を目指して工事が進められており、業務・商業施設とアトリウム、鶴屋町方面には駐車場棟が完成する予定です。



(2) 西口地下街中央通路接続事業（通称：馬の背解消事業）

(仮称)横浜駅西口開発ビルと同じく、2020東京オリンピック・パラリンピック前の完成を目指しており、完成後は鉄道とバスの乗換利便性が大きく向上し、地下レベルの歩行者ネットワークが強化されます。



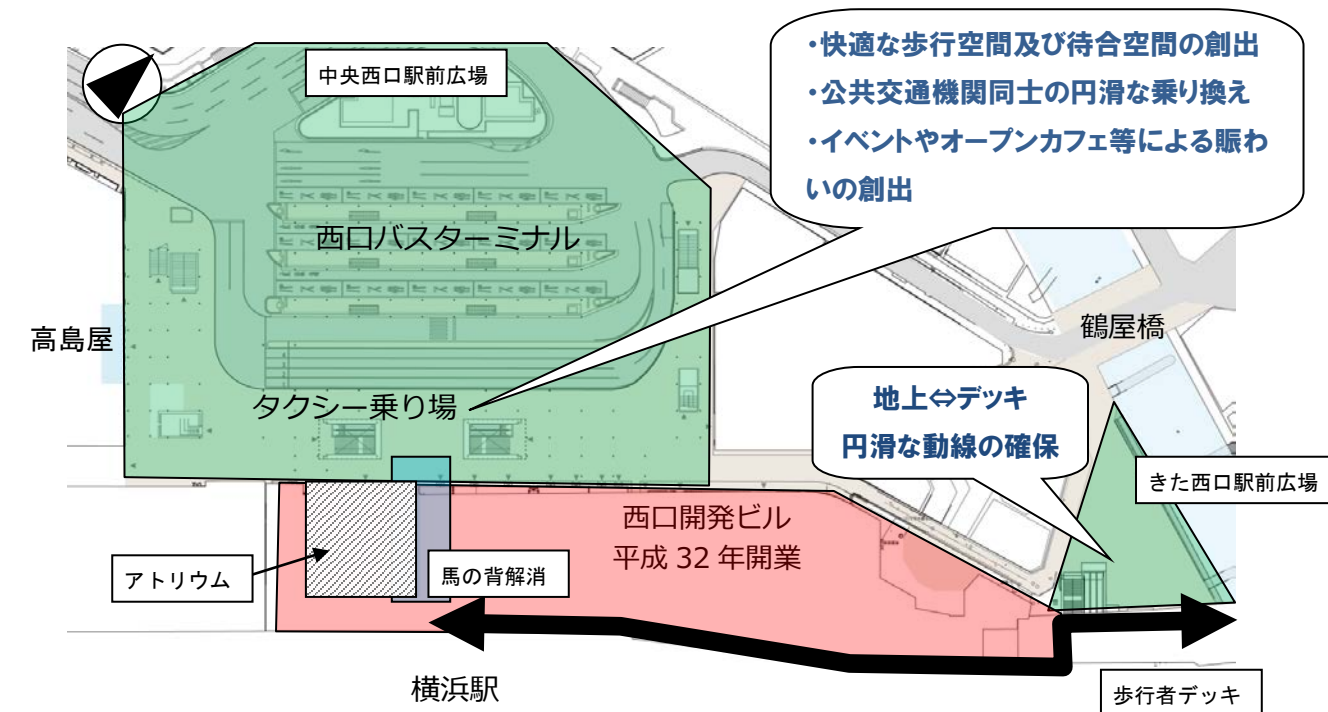
2 西口駅前広場の課題と整備の考え方

(1) 課題：快適とは言えない従前の駅前広場

- ア 公共交通乗り換え動線と通過動線の交錯や、通行空間と待合空間の機能分担ができておらず、大変混雑していました。
- イ 待合スペースが充分ではなく、イベントやオープンカフェ等を実施することは困難な状況でした。

(2) 整備の考え方

- ア (仮称)横浜駅西口開発ビル及び馬の背解消事業に伴い、中央西口駅前広場の関連部分の整備を行い、横浜の玄関口に相応しい景観形成を図ります。
- イ ユニバーサルデザイン等により「人に優しい駅前空間をつくる」ことを目指します。
 - (ア) 鉄道とバスの乗換など主たる通行機能は地下・屋内に確保するため、地上は待合を意識した広場整備とします。
 - (イ) 地上では通行空間と待合空間を機能分担し、適切に誘導します。
 - (ウ) 天候に左右されないタクシーへの円滑な通行空間を確保します。
 - (エ) 快適な待合空間を設けるとともに、オープンカフェ等により賑わいを創出し、まちの魅力を高めます。
- ウ きた西口駅前広場には、地上からデッキ（2階レベル）への円滑な動線を確保し、街の回遊性を高めます。



3 今後の予定

期間	作業予定内容
平成29年6月～7月	駅前広場整備に関する市民意見募集
平成29～30年度	設計
平成30年度後半～32年春頃	工事